

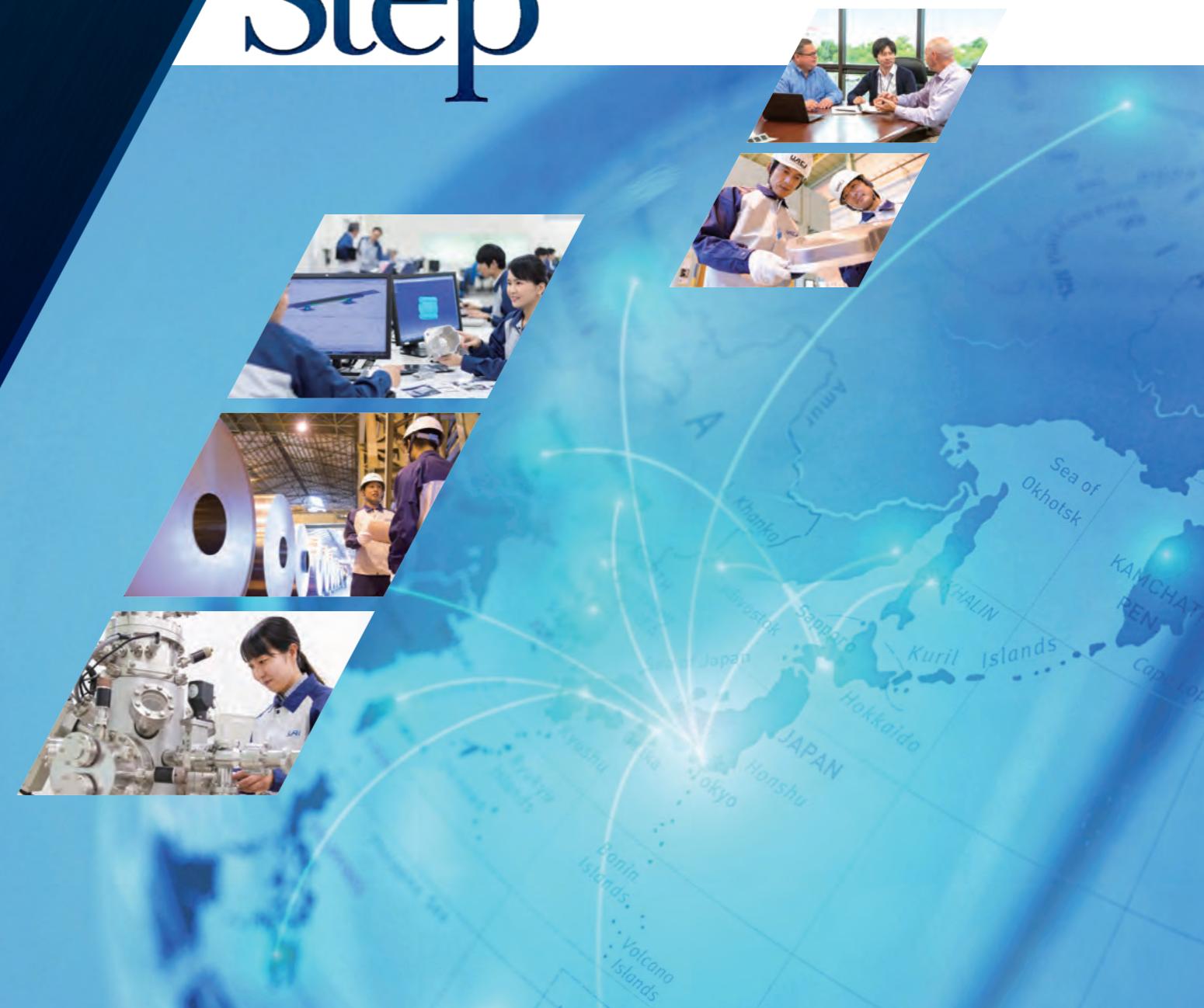
株式会社UACJ

〒100-0004
東京都千代田区大手町1丁目7番2号 東京サンケイビル
お問い合わせ : saiyo@uacj.co.jp
採用ホームページURL : <http://www.uacj.co.jp/recruit/>



Next Step 次の成長ステージへ。

RECRUITING INFORMATION 2026



Next Step

新たな未来に向けて 成長するUACJ

非鉄金属素材のリーディングカンパニーとして
暮らしや産業のさまざまなシーンに
高付加価値な素材を提供しているUACJ。
そして今、アルミニウムが持つさらなる可能性に挑戦し
新たな未来を切り拓こうとしています。

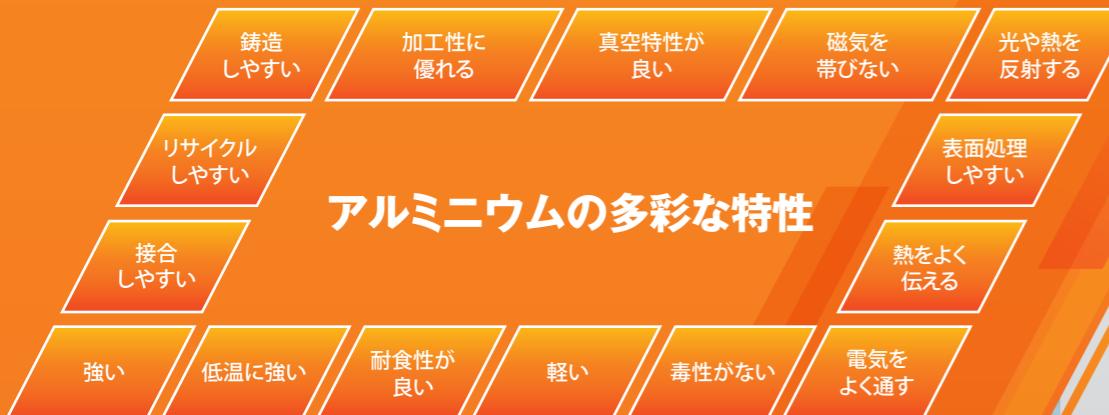


アルミニの可能性	3	UACJの成長戦略	13
UACJの事業	5	UACJの素顔!	19
事業フィールド	7	JOB INDEX	21
UACJの歴史	9	教育研修	23
研究開発	11	拠点一覧	24
		人事部長メッセージ	25
		募集要項	26
		求める人物像	26
		選考フロー	26

Next Step

アルミの可能性

発見からまだ200年。
進化を続けるアルミニウムは、
活躍の場を広げ続けています。



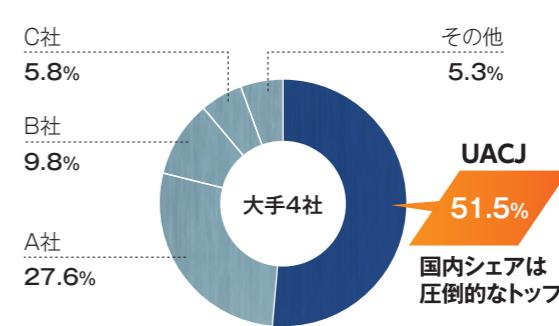
アルミニウムで社会を豊かに。

国内で随一、そして世界でも数少ない“アルミニウム総合メーカー”として、幅広い産業分野のニーズに、グローバルな規模で応えています。

エリア別売上高比率

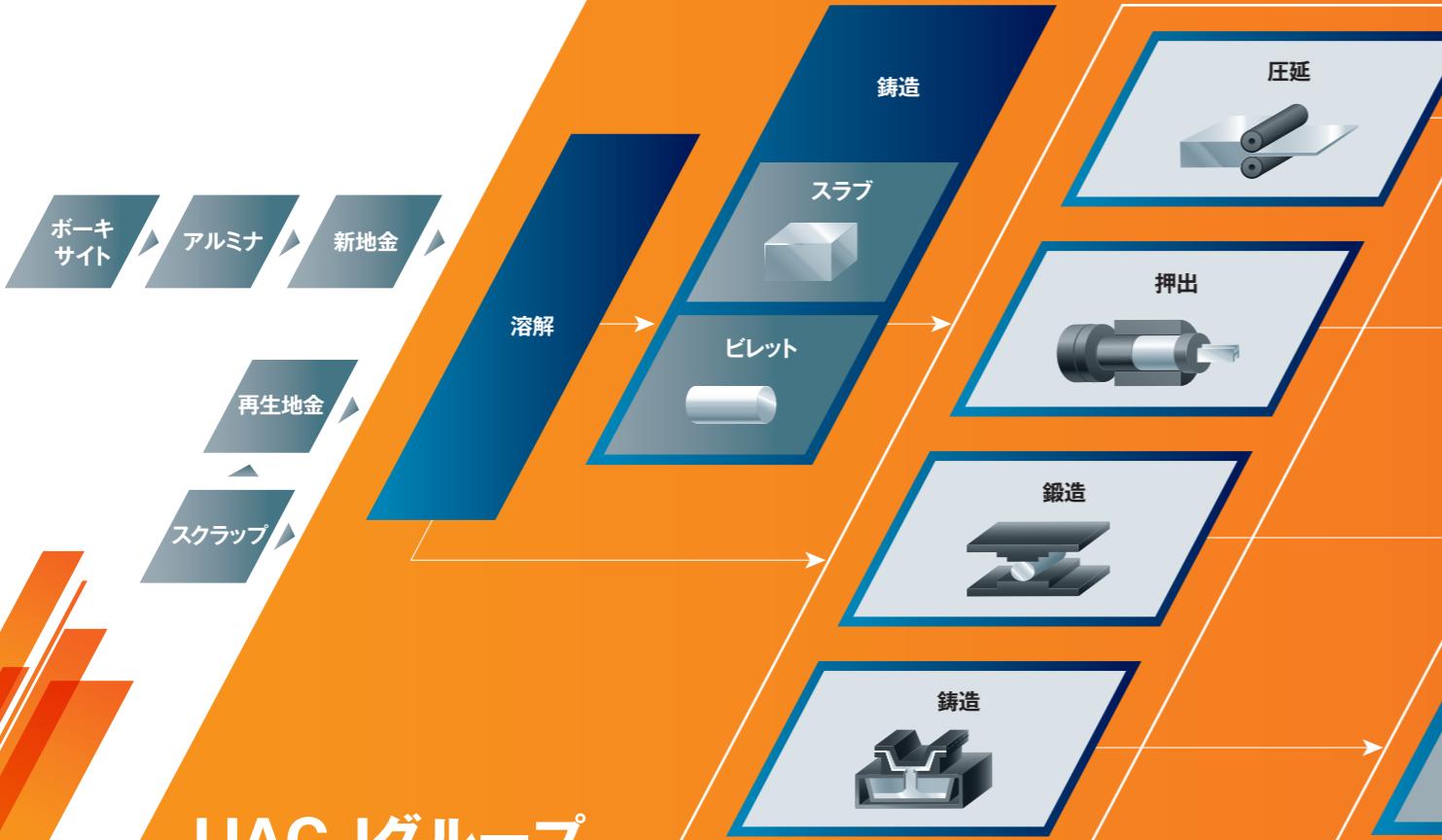


アルミニウム圧延品国内生産量比率(2023年度)



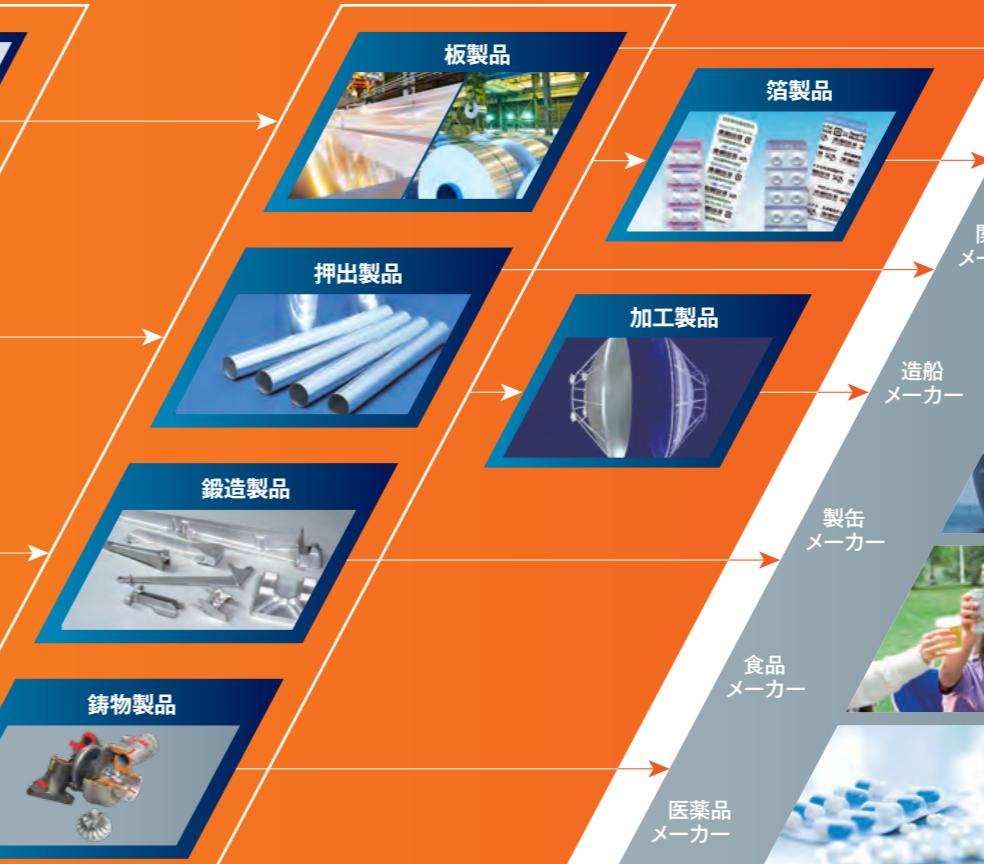
(出典:カロス出版アルミニウム情報ファイル2024年度版)

アルミニウムの加工プロセス



UACJグループ

製品



主な納品先



板事業

世界最大級の生産能力を活かして高品質な板製品を供給

世界最高水準の板厚制御技術や、全長400メートル、幅4.3メートルにおよぶ世界最大級の大型圧延機など世界トップクラスの生産能力を誇ります。高度な生産技術と独自のノウハウを結集し、さまざまな製品を供給しています。

自動車部品事業

メーカーと綿密に連携し次世代の自動車づくりに貢献

国内トップのアルミニウムメーカーとして培ってきた知見と生産技術を活かして、お客様のものづくりのパートナーとして高い品質要求に応えるとともに、日本に留まらず、北米、中国、東南アジアなどグローバルに製品を供給しています。

押出・加工品事業(押出)

業界をリードする技術力を活かして幅広いニーズに対応

製造、金型設計、さらには各種の成形加工において、豊富な経験に裏付けられた技術力を活かし、高品質な押出製品や押出加工製品を生産。自動車、産業機器、航空機、OA製品など、幅広い分野のニーズに応えています。

押出・加工品事業(加工品)

多彩な設備と技術を活かしてあらゆる加工ニーズに対応

成形加工から接合加工、表面処理、塗装まで、あらゆる加工ニーズに対応できる設備と技術を有しています。多様なサイズ、形状、機能を持った加工品を生産し、幅広い産業分野のニーズに応えています。

航空宇宙・防衛事業

高度な技術力と生産体制を活かして高い競争力を持った製品を実現

成形荷重15,000トンの大型鍛造プレス機などの設備を活かして、航空機やロケットの大型リング材、航空機胴体や主翼のフレーム材などの大型鍛造品を、航空・宇宙産業の高い品質要求に応える体制で生産しています。

箔事業

電池分野をはじめ先端ニーズに応える製品開発に注力

食料品や医薬品などの包装材から、家庭用ホイルなどの日用品、電解コンデンサーや電池用の電極材料などの先端の産業用途まで、さまざまな分野に高品質なアルミニウム箔や金属箔を提供しています。

飲料缶からロケットまで。

アルミニウムは、暮らしや産業のさまざまなシーンで活躍しています。



飲料缶

リサイクルに適した環境に優しいエコ素材

「急速に冷やせる」「軽い」という特性から、アルミニウム缶が多く利用されていますが、近年とくに重視されているのが「リサイクルのしやすさ」。回収されたアルミニウム缶から再生地金をつくるために必要な電力量を新たな地金をつくる場合と比較すると90%以上のエネルギーが節約できます。

情報・モバイル機器

小型・薄型化や軽量化の要求に応えるとともに、多機能・高機能化を支える電子部品も供給

軽量で丈夫、放熱性に優れて高級感もあるアルミニウムは、さまざまな情報・モバイル機器の小型・薄型化、軽量化に欠かせない素材として幅広く採用されています。UACJは、世界最高レベルの精密加工技術を駆使して、先端機器に最適なボディ材や多機能・高機能化を支える電子部品を提供しています。

風力・太陽光発電

再生可能エネルギーの普及に欠かせない蓄電池の大容量化に貢献

エネルギー問題の解決に向けて、風力や太陽光など再生可能エネルギーが注目を集めていますが、安定電力として普及させるためには、電力を貯める「蓄電技術」が重要になります。UACJは、産業用・家庭用の蓄電モジュールとして期待が高まるリチウムイオン二次電池の大容量化に向けて、電極材に使用されるアルミニウム箔集電体の研究に注力しています。

LNG船

環境に優しい新エネルギーとして注目を集めるLNGの保管・輸送に不可欠

LNG(液化天然ガス)は、-183°Cという極低温で保管・輸送されます。UACJは、この極低温に耐えるLNGタンカー用のアルミニウム材を供給できる、国内で唯一、世界でも数少ないメーカーとして、大きな存在感を示しています。



自動車

環境に優しいクルマの開発・普及を素材面からサポート

環境意識の高まりから、ガソリン車の燃費向上とともに電気自動車やハイブリッド車など次世代自動車の開発・普及が世界的に進んでいます。UACJは、車体軽量化に貢献する自動車ボディパネル材やハイブリッド車の性能を左右するコンデンサ(蓄電器)など、さまざまな自動車用アルミニウム部材の開発・提供に注力しています。

ロケット・宇宙ステーション

宇宙開発計画に欠かせない高力アルミニウム材料を提供

宇宙ロケットには、打ち上げ時のエネルギーを削減するために、軽量化に有効なアルミニウム材料が採用されています。たとえば、2001年に運用を開始した国産ロケット「H2A」の主要部品には、UACJの開発した溶接可能な高力アルミニウム材料「AA2219」が採用されています。

航空機

認定メーカーとして世界の航空機メーカーに高品質なアルミニウム合金を供給

航空機の分野では、安全性・信頼性に万全を期すために部品や材料に厳しい独自規格が設けられており、認定を受けたメーカーのみが製造・供給を許されています。UACJは、この国際認定を取得した世界でも数少ない存在として世界の航空機メーカーにアルミニウム部材を供給。国内では、三菱航空機(株)が開発した国産初のリージョナルジェット機※「MRJ」に部材を供給しています。

※座席数50~100席の小型ジェット機



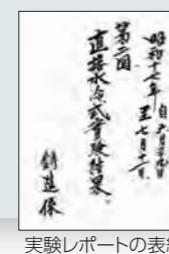
アルミニウムとともに。

100年以上にわたって、アルミニウムの可能性を切り拓いてきました。

1944

国内初となるアルミニウムの水冷式鋳造を実現

ドイツからの技術導入により、国内では初となるアルミニウムの水冷式鋳造に挑戦。それまでの金型鋳造に比べて10倍以上の生産性向上を果たす「水冷式半連続鋳造」を実用化しました。



1994

1994年に打ち上げられたH2ロケット用のアルミニウム広幅板材を開発

宇宙空間という過酷な環境に耐える信頼性の高いアルミニウム材料を開発。純国産の大型2段式ロケット「H2ロケット」の一段目胴体用幅広板材として採用されました。



2015

アルミニウム製軽量バンパーアセンブリーが新型「マツダロードスター」に採用

2015年5月に販売開始された新型「マツダロードスター」に採用されたバンパーアセンブリーは、材料・工法の最適化により従来比約32%の軽量化を達成。車体軽量化に大きく貢献しています。



2023

超々ジュラルミンなどの技術資料が「未来技術遺産」に選定

UACJが保有する航空機用アルミニウム合金開発の技術資料2件が、日本における科学技術の発達上重要な成果を示し、次世代に継承していく上で重要な意義を持つ重要科学技術史として、国立科学博物館の



古河スカイ

- 1905年 アルミニウム板圧延開始
- 1910年 アルミニウム電線の研究を開始
- 1944年 国内初となるアルミニウムの水冷式鋳造を実現
- 1970年 国内初のアルミニウム製LNG地上タンク用厚板を製造開始

- 1971年 国内初のアルミニウム缶ボディ用材料を製造開始
- 1983年 福井で世界有数最新鋭の板圧延工場が稼働
- 1998年 インドネシアにPT. Furukawa Indal Aluminumを設立

- 2003年 古河電工(株)とスカイアルミニウム(株)のアルミニウム事業が統合し、古河スカイ(株)を設立
- 2005年 中国に押出事業の現地法人を設立
翌年にはベトナムに鋳物事業の現地法人を設立

- 2007年 設備投資が必要な板事業で、海外企業との提携を推進
- 2007年 ギリシャ、英国、韓国、中国など、有力アルミニウム会社に、順次資本参加
- 2012年 タイに、自社のアルミニウム板圧延工場の建設を開始

- 2013年 古河スカイ(株)と住友軽金属工業(株)が経営統合し、(株)UACJが発足
- 2015年 バンパーアセンブリーが新型「マツダロードスター」に採用
- 2015年 海外一貫生産工場本格稼働
- 2016年 北米の自動車市場向け戦略的投資を拡大

UACJ

主な社会の出来事

1900

- 1923年 関東大震災
- 1964年 東京オリンピック開催
- 1970年 大阪で日本初の万国博覧会開催

- 1989年 ベルリンの壁崩壊
- 1992年 日本人初の宇宙飛行士毛利衛氏宇宙へ
- 1994年 H2ロケット初号機の打ち上げ成功

2000

- 2001年 米国で同時多発テロ発生
- 2003年 ヒトゲノム解読完了
- 2005年 京都議定書発効

- 2008年 リーマン・ショック
- 2011年 東日本大震災
- 2012年 東京スカイツリー完成

住友軽金属

- 1898年 国内初のアルミニウム圧延事業を開始
- 1936年 世界初の超々ジュラルミンを開発
- 1941年 名古屋に名古屋軽合金製造所を建設
- 1959年 住友金属工業(株)の伸銅、アルミニウム圧延部門が分離して住友軽金属工業(株)を設立

- 1964年 国内初のアルミニウム飲料缶ふた材を開発
- 1966年 アルミニウム板新熱間圧延設備が稼働
- 1979年 SLMオーストラリアを設立
- 1990年 スミケイマレーシアを設立
- 1995年 住輕(広州)金属製品有限公司を設立

- 2002年 住輕チェコ有限会社を設立
- 2009年 日本アルミ(現・ナルコ岩井)グループを設立
- 2010年 住輕テクノグループを設立

- 2011年 世界のアルミニウム缶市場の4割を占める米国での事業拡大を目的に、古河スカイ(株)など共同でアルミニウム板圧延製造販売会社の株式を取得

- 2019年 R&Dセンター リニューアル
- 2023年 超々ジュラルミンなどの技術資料が「未来技術遺産」に選定
- 2023年 (株)UACJ発足10周年
- 2024年 UACJグループ製品のブランド「ALmitas+」の採用が拡大

1898

国内初となる民間でのアルミニウム圧延事業を開始

日本の近代産業が黎明期にあった明治時代、当時の国内で最も近代的な民間伸銅工場であったのが、住友軽金属工業の前身となる住友伸銅場でした。大阪砲兵工廠からの委託を受け、この工場でアルミニウム板の圧延を開始したのが、日本で最初の民間工場としてのアルミニウム圧延とされています。

1936

世界初の超々ジュラルミンを開発

アルミニウム合金の一種であるジュラルミンの国産化に取り組みはじめたのは1919年のこと。その後、航空機向けに強度を高め、1935年に超ジュラルミンを、1936年に超々ジュラルミンを開発し、ゼロ戦の高性能化に貢献しました。



2019

R&Dセンター リニューアル

研究者が互いに刺激し合う環境の構築を目指し、執務エリアや実験室のスペースを拡張したほか、人・知識・知恵・製品と技術の融合を図るためにイノベーションエリア「U-Al Lab.」とUACJの技術を紹介する「歴史未来館」を新設しました。



2024

UACJグループ製品のブランド「ALmitas+」の採用が拡大

UACJグループのアルミ素材・製品のブランド「ALmitas+(読み:アルミタス)」。テントのポールやレーシングカートパーツに加えて、2024年には伝統工芸である漆芸パネルへの活用が決定するなど、さまざまな分野にALmitas+ブランドが拡がっています。



アルミニウムの新たな可能性を追求。

アルミニウム圧延業界で世界トップクラスの研究開発体制を構築しています。

アルミニウムの工業化当初から高い技術力で業界をリード

工業化されてから百数十年の若い金属であるアルミニウムは、優れた特性によって大きな成長を遂げ、現在の社会を支える金属になりました。UACJ R&Dセンターは、アルミニウムの歴史とともにさまざまな知見・技術を蓄積するとともに、数々の発明や日本初の製品を世の中に送り出してきました。そして現在、UACJグループの研究開発の要として多様なリソースを結集し、革新的な次世代製品・技術の開発に挑戦し続けています。



R&Dセンター（愛知県名古屋市）



業界トップクラスの300名超の研究員を擁する研究開発体制

R&Dセンターでは、お客様の多様なニーズや環境・エネルギーの社会変動に対応するため、基盤技術の開発から製品および利用技術の開発まで、一貫した研究開発を進めています。300名超の研究員が、最先端の技術と高精度な解析装置を駆使して、アルミニウムの新たな可能性を見出し、社会に役立つ製品の創出に取り組んでいます。



国家プロジェクトへの参画や

お客様との連携を通じて
アルミニウムの新たな可能性を追求

次世代技術の開発やアルミニウム製品の需要を喚起していくために、素材そのものの機能・品質の向上はもちろん、加工技術・接合技術の革新による新用途の開拓やコストダウンなどさまざまな技術課題を解決していく必要があります。UACJは、こうした革新的な研究開発の一環として、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)のプロジェクトに参加して世界最高強度の国産アルミニウム合金の開発を推進するほか、大手自動車部品メーカーとの共同開発などを通じて、アルミニウムの新たな可能性を追求しています。



長い歴史の中で蓄積してきた金属工学・塑性加工学・電気化学などの学術・技術分野を基盤に、評価技術や解析技術・製造技術などさまざまな技術を活用することで、革新的な次世代製品・技術を開発しています。



国内NO.1、
世界でもトップクラスの
アルミニウムメーカーUACJは、
VISION 2030のもと、
新たな未来を見据えています。

2030年にUACJグループが「どうありたいか」「どうあるべきか」を定義した長期経営ビジョン「UACJ VISION 2030」。このビジョンの策定には、5年後、10年後に経営に携わる力を秘めた中堅・若手社員が参加して、企業理念の実現に向けてUACJがどのような役割を果たし、社会に貢献していくべきかなどについて議論を重ね、「モビリティ」「ライフスタイル・ヘルスケア」「環境・エネルギー」の3領域を10年後に活躍したい新規領域と位置付けています。

アルミニウムを究めて、サステナブルな社会へ

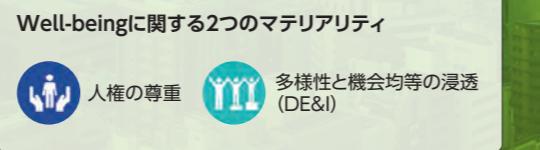
多彩な特長をもつアルミニウムのポテンシャルをグループの幅広い技術で引き出し、さらに拡大していくことでサステナブルな社会づくりに貢献していきます。



2030年にありたい姿の実現に向けて、 さまざまなステークホルダーとともに **持続可能な社会づくり**を目指しています。

環境問題をはじめ、現代社会が抱えるさまざまな課題を将来に残さず、子どもたちの世代が、今より軽やかで楽しい未来を過ごすことができるよう——。

UACJグループは、環境に関する3つのマテリアリティ、およびWell-beingに関する2つのマテリアリティを定め、2030年度に向けた達成目標の実現に向けて、さまざまなサステナビリティ活動を推進しています。



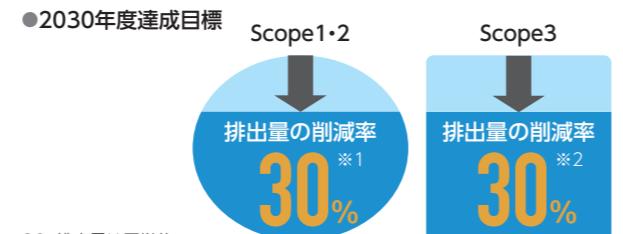
「アルミニウムの循環型社会」の牽引 (サーキュラーエコノミー)

アルミニウムは、製品製造過程での再溶解におけるエネルギー消費が小さいため、リサイクル網が整備されやすく永遠に循環する素材という優位性をもっています。使用済み製品から回収した原料や、顧客の加工工程や自社での素材製造工程で発生するスクラップ(廃材)を最大限に活用し、新地金※の使用量を最小化することで、原材料調達から、製造、使用、廃棄までの製品ライフサイクルにわたりて排出するCO₂の削減を目指し、地球環境に負荷の少ない軽やかな世界を実現します。

※採掘されたボキサイトを電気の力で精錬したアルミニウムの原料



※UACJ リサイクル率=循環アルミニウム量／溶解炉への装入量(純アルミ材を除く)



CO₂排出量は原単位
(1年間で弊社から出荷された製品1トン当たりに要したCO₂排出量)で算定
※1 第6次エネルギー基本計画に基づき算出
※2 Category1

気候変動への対応

気候変動への対応は、社会全体で取り組むべき喫緊の課題です。UACJグループは、温室効果ガス(CO₂)排出削減を含めた「カーボンニュートラルの実現」を重要課題の一つと位置付け、事業活動を通じて排出するCO₂の削減だけでなく、素材の力を引き出す技術でアルミニウムの利活用の機会拡大に取り組むことでサプライチェーン全体のCO₂排出量削減をめざしています。



●2030年度達成目標



※取水量は原単位(1年間で弊社から出荷された製品1トン当たりに要した水の取水量)で算定
取水は下水再生水含む、工業用水、水道水、井戸水、地表水を対象



自然の保全と再生・創出 (ネイチャーポジティブ)

私たちの日々の暮らしは、森や海からの恵み、安全な飲み水、日々の食事、新鮮な空気など、多くの恩恵を「資源」として受け取り、成り立っています。UACJグループは、製造時に使用した水の再利用はもとより、水セキュリティへのさらなる取り組みや生物多様性の保全、アルミニウムリサイクルの推進などさまざまな観点から、自然への負荷を最小限に押さえる取り組みを進めています。



人権の尊重

人権に関する施策の推進は、UACJグループの内外を問わず社会全体の“Well(幸福な状態)”※を向上し、未来の“Well”につながるものと考えています。UACJグループは、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」、国別行動計画である「ビジネスと人権に関する行動計画」に沿った活動を推進するとともに、「普遍・平等」「不可譲」「不可侵」の考えに則ったグローバルな事業活動の実践を通じて、誰もが幸せを感じられる社会の実現をめざしています。

※“Well”は、肉体的、精神的、社会的すべてにおいて満たされた幸福な状態を指します。

※1 人権デュー・ディリジェンス実施率=人権デュー・ディリジェンスを実施したグループ会社の従業員の総数／当社グループ従業員数
※2 人権の尊重の浸透度=コンプライアンス・人権に係るエンゲージメント調査設問項目の平均点数

●2030年度達成目標

人権デュー・ディリジェンス実施率



人権の尊重の浸透度



多様性と 機会均等の浸透 (DE&I)

さまざまなバックグラウンドを持つお互いを尊重し合うことが、当社グループのみならず社会全体の“Well”であり、“良い状態”につながるものと考えています。UACJグループの役員及び従業員全員が、属性・働き方・キャリアにおいて多様な人材で構成され、自ら主体的に働き、UACJグループで働くことに誇りとやりがいを感じ、上司・仲間とともにわくわくする仕事に取り組むことで、お客様の期待を上回る効果の創出につなげていきたいと考えています。

●2030年度達成目標

多様性と機会均等の浸透度



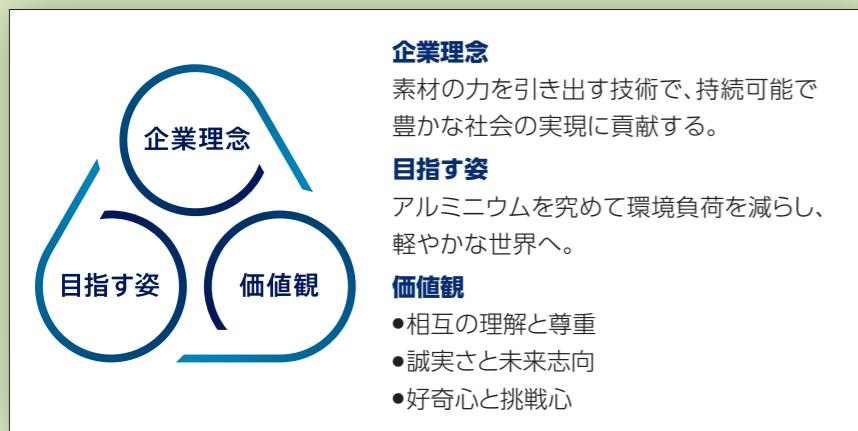
※1 多様性と機会均等の浸透度=DE&Iに係るエンゲージメント調査設問項目の平均点数
※2 役員を除く

「UACJウェイ」のもと、 未来を見据えて新しい価値創造に挑戦

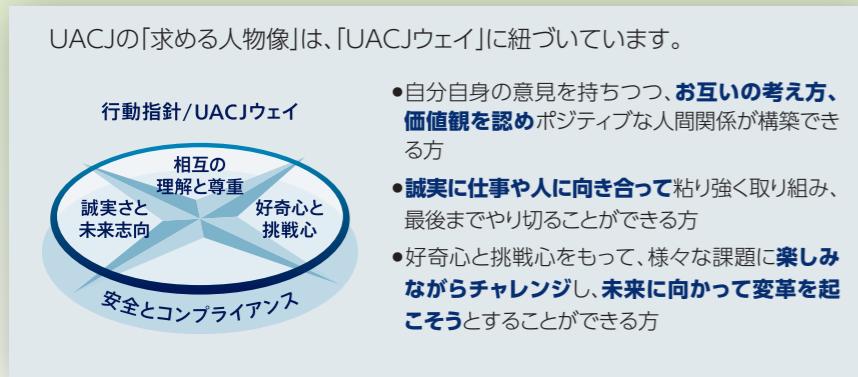
想いをひとつに。グループ社員が一丸となって
“軽やかな世界”の実現を目指す

「アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。」を目指す姿に掲げるUACJグループ。私たち一人ひとりが、行動の指針としているのが「UACJウェイ」です。「未来志向」「好奇心」「挑戦心」など共通の価値観のもとに、自分が「考えたこと」や「やりたいこと」を自由に発言することができ、そして、一人ひとりが健康で心が充実し幸せと成長を実感できる組織・風土で有り続けることで、新たな価値創造に挑戦しています。

UACJグループ理念



行動指針「UACJウェイ」と求める人物像



Action 1 組織活性・風土改革

“まずは一步
踏み出してみる”を
合言葉に。



コロナ禍の影響から、在宅勤務などワークスタイルが大きく変化するなか、さまざまなスタイルで**社内コミュニケーションの活性・充実**を図っています。

ダイバーシティ

の推進に向けて、性別や国籍、年齢に関わらず、社員一人ひとりが能力をいかんなく発揮できる環境づくりに積極的に取り組んでいます。

UACJグループは、「従業員の安全・衛生・健康はすべてに優先する」という考え方のもと、社員の健康保持・増進活動に積極的に取り組んでいます。2024年には、従業員の健康管理の戦略的に取り組む「**健康経営**」に優れた上場企業として、経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄2024」に選定されたほか、経済産業省と日本健康会議が共同で進める「健康経営優良法人2024(ホワイト500)」にも初めて認定されました。



UACJグループの+αの付加価値・新事業となる可能性のある事業プランやアイデアを、社員から広く募集する**社内ベンチャー制度「UACJ Innovators」**を設置しています。



Action 2

成長支援・後押し
社員の挑戦や成長への想いを支援。



ものづくり技術やビジネス英語などの通信講座や、オンラインで受講できるEラーニング講座など、さまざまな形で社員の**キャリアアップ**を後押ししています!





Q UACJの入社の決め手は?

- ものづくりを通して、社会に貢献できる!
- 社員一人ひとりを大切にしていると感じたこと!
- 専門性が活かせてやりたいことができる!
- 世界を相手に仕事ができる!
- 積極的な海外展開など将来性を感じた!

社員に聞く!UACJ

UACJについて知りたければ、実際にUACJで働く社員に聞くのが一番!
社員アンケートの結果を公開しちゃいます。

Q UACJの社風・雰囲気について一言!

- 役職や年齢を問わず、皆さん話しやすい!
- フレキシブルで先進的な考え方で仕事をしている!
- 企業規模の割に社員が少人数で風通しが良い!
- 気さくでおおらかな人が多い!
- 上司との垣根が低く相談しやすい!

Q UACJココがすごい! と思う点は?

- 世界有数の技術力と設備!
- 世界の優良企業が顧客!
- 世界規模の競争力!
- 製品ラインナップの幅広さ!
- アルミニウムの国内トップ企業!



歴史 **1900** 年

明治以来の歴史をもつ2社が統合して誕生したUACJ。その歩みは、日本の近代産業の歩みそのものといつても過言ではありません。



売上高
(2023年度)

8,928 億円

国内アルミ圧延メーカーではトップ、世界でもトップクラスの売上高を誇っています!



UACJ の素顔!

数字で見る!UACJ

UACJという会社の持つグローバルなスケール感を、少しでも実感してもらえるよう、特徴的な数字をピックアップしました。

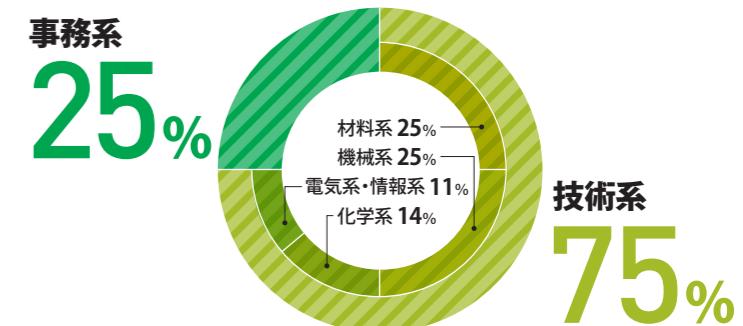
グループ社員数

約 **10,000** 名

ただ多いただけでなく、外国籍社員の比率も拡大中。グローバルな環境で働くなかで、自然と国際感覚が身につきます。



技術系／事務系の比率



生産能力
約 **120** 万トン

板圧延品の生産能力では国内の圧倒的トップ。世界でもトップクラスに位置します。



UACJ JOB INDEX

素材メーカーならではの業務の幅広さ、
グローバル企業ならではの事業エリアの広さを活かして
活躍の場を見つけてほしい。

事務系の仕事

営業

的確かつタイムリーにお客様のニーズを捉え、お応えするのが営業の使命。“求められる製品を、求められるタイミングで、求められる量を”供給するために、お客様・生産現場との緊密なコミュニケーションが欠かせません。

勤務地 ● 本社、支社、海外拠点(タイなど)

人事

人材の採用・配置、給与計算や労務管理など、社員がスムーズに安心して働くために必要なさまざまな業務を担い、企業の基盤である人材を支えます。

勤務地 ● 本社、国内各製造所

購買

モノづくりに必要な原材料や資材をはじめ、製造工程に導入される機材や設備などの購入に関して、必要とされる品質や機能を満たすものを適正な価格で手配する役割を担います。

勤務地 ● 本社、国内各製造所

法務

コンプライアンスに関する社内の相談窓口など、法律に関する業務を幅広く担うほか、取締役会や株主総会など各種会議体の運営に携わります。

勤務地 ● 本社

生産管理

モノづくりの現場は、お客様のニーズ、生産現場の事情など、常にさまざまな変動要因を抱え一筋縄ではいかないもの。変化に対応する苦労を伴いますが、乗り越えた後に得られる成長も大きいです。



生産管理

お客様のニーズに沿って、生産計画の立案や製造工程の進捗フォロー、出荷の指示出しなどを担うモノづくりの“司令塔”。工程管理の経験・ノウハウは、営業をはじめ多くの仕事のベースと言えます。

勤務地 ● 国内各製造所、海外拠点(タイなど)

経理

製造所での会計処理をはじめ、本社での決算業務や債券管理、さらには財務戦略の策定など、事業活動の“生命線”とも言える資金の流れを司る仕事です。

勤務地 ● 本社、国内各製造所

経営企画

グループ全体の経営方針の立案から、事業ごとのマーケティング戦略、さらには海外企業との提携など、幅広い領域で会社の舵取りを担います。

勤務地 ● 本社

営業

だれもが社名を知るような国内・外有数のお客様を抱えるUACJ。その窓口として前面に立つ責任は重いですが、自分の仕事と社会とのつながりを感じることができる醍醐味です。



経営企画

会社を取り巻く環境や進むべき進路を見出し、解決見据えながら、自ら課題を見出し、解決していく姿勢が求められる仕事。会社の将来を創る大きなやりがいと責任を伴います。



経理

経理の仕事の基本は、データの集計・管理といった地道なもの。細かい作業の積み重ねの一方で、お金の流れから経営状況や課題などを読み取るといった難しさとやりがいがあります。



法務

企業の業績のみならず、事業の公平・透明性や持続可能性にも社外から厳しい目が注がれるなか、企業価値向上に向けた重責を果たしています。



人事

人事の仕事の特徴は、業務内容の幅広さ。

常にマルチタスクを抱えて忙しく、さまざまな視点で社内を見渡すことができる広い視野と調整能力が求められます。



購買

購買担当の腕の見せ所は、必要なモノを、必要な量だけ、必要な時に届けること。調達先やお客様の需要の動きを広く見渡し、最適解を導き出す醍醐味は、この仕事ならではの魅力です。



技術系の仕事

生産技術

製品のもととなるスラブ(塊)をつくる「鋳造」、板状に延ばす「圧延」、求められる形状に加工する「押出」「鍛造」など、生産工程に関する技術開発を担当します。

勤務地 ● 国内各製造所、海外拠点(タイなど)

製品技術

缶、自動車、ITデバイス、医薬品など、特定の製品についての材料開発、製造プロセスの最適化、製品化後の改良・改善など、技術開発・支援を総合的に担います。

勤務地 ● 国内各製造所、海外拠点(タイなど)

製品技術

担当の製品について深く関わることがで
きるのが大きな魅力。お客様と直接かか
わることが多く、コ
ミュニケーション力
も欠かせません。



生産技術

既存ラインの改善から新生産プロセスの立ち上げまで、仕事の幅広さはUACJのなかで随一。モノづくりの現場で技術的な責任すべてを担います。これをプレッシャーと捉えるか、醍醐味と捉えるかは、あなた次第!



研究開発

金属組織や性質などを探求する「基礎研究」や、お客様のニーズを満たす製品を創造する「製品開発」を通じて、アルミニウムの新たな価値を創造します。

勤務地 ● R&Dセンター

設備技術

より高品質な製品を、より効率的に、より低成本で』をテーマに、モノづくりの“要”となる生産設備の設計、開発から導入、補修・改善までトータルに担います。

勤務地 ● 国内各製造所、海外拠点(タイなど)

システム開発

既存システムの改善から、DX推進の一環としての新規パッケージシステムの導入などで、グループのさまざまな業務を支える各種システムの開発・保守に幅広く携わります。

勤務地 ● 国内各製造所

研究開発

新たな価値創造には、生みの苦しみが付
きたもの。地道な実験の日々がプレッシャー
になることもあります
ですが、その積み重ね
があるからこそ、未
開の領域を切り拓いて
いくやりがいを味
わえます。



システム開発

企業内の情報システム担当とシステムペ
ンダーとの大きな違いは、システムの
ユーザーとの距離が近いこと。創り上げ
たシステムの成果や喜びを社内で共有で
きることが大きなやりがいです。



設備技術

UACJの生産設備の特徴はスケールが大き
いこと。多数の設備がつながり製品を生
み出すダイナミズムを支えるのが大きな
やりがいで。また、現場の安全性の確保
も設備技術者の大きなテーマの一つです。



Column

海外勤務について

グローバルに事業を展開するUACJでは、海外のお客様や取引先とのやり取りも多く、若手のうちから英語等でのコミュニケーションにチャレンジする機会があります。また、海外勤務を希望する社員については、現地の状況などを踏まえたうえで、柔軟に異動・配属を行っています。しかし、海外勤務は、語学はもちろん、日本国内で働く以上に高度なコミュニケーションスキルやマネジメント能力が求められることなどから、平均的には、入社5~6年以上の一定の業務経験を積んだ社員が海外勤務に就くことが多いです。



一人ひとりが成長を実感でき、 働きがいを感じられる教育研修

一人ひとりの能力を高めるために
職場での実践を軸にした
教育研修を実施します。

企業の基盤は人材であり、企業の総合力とは社員一人ひとりの能力の総和に他なりません。そして社員の能力を高めていくにあたっては、日々の業務を通じた実践的な教育こそが基本となります。

こうした考えのもと、UACJでは、各部門における業務を通じた上司や先輩からの指導を中心とした「部門内教育」を教育研修の要としています。これに加えて、「階層別研修」「スキル教育」「自己啓発支援」を3本柱とした人材育成を進めています。

階層別研修

仕事に必要な専門的・実践的な知識技能などを計画的に修得できるようにします。

スキル教育

各種の研修やセミナーを企画して、効果的・効率的に「必要なマインド・知識・スキル」を身につけられるようにします。

自己啓発支援

語学受講の補助や、通信教育の補助、外部教育講習への派遣などを通じて、自己啓発を支援します。



人材開発センター



入社

1年目

2年目

3年目

4年目

●新入社員研修

入社直後から約3カ月にわたって、名古屋の人材開発センターで集合教育と工場実習を実施します。ここでは、UACJに関する基本的な知識をはじめ、社会人としての備えるべき知見、会社のルール、仕事の進め方などをじっくりと学びます。特に工場実習では、実際の製造現場での作業を通じて、メーカーの基本となる“ものづくり”を体感します。



●新入社員フォローアップ研修

入社1年目後期に、配属先での業務を通して学んだことを踏まえた研修を実施します。



●2年目研修

入社後1年間のまとめとして業務報告書を作成・発表し、3年目に向けた新たな目標を設定します。また、問題解決に関する講義なども実施します。



●3年目研修

新入社員期間の総仕上げとして、3年間の業務を振り返り、その成果や成長度合いを報告します。同期の社員同士で刺激を与え合うとともに、中堅社員として活躍するために必要なことを学びます。



●階層別研修

拠点一覧

アルミニウムの可能性を拓き、 価値を提供する開発・生産・販売ネットワーク



株式会社UACJ

営業部門

研究開発

管理部門

板事業

自動車
部品事業押出・
加工品
事業航空宇宙・
防衛事業

箔事業

人事部長メッセージ

アルミニウムの可能性を追求する “好奇心と挑戦心”にあふれた人材を求めています。

UACJグループは、優れた特性を持つアルミニウムと100年以上にわたって向き合い、その可能性を信じて、より広範な領域で社会に貢献することを目指しています。現在、長期経営ビジョン「UACJ VISION 2030」のもと、さまざまな側面で、**新たな価値の創造**に取り組んでいますが、それらはすべて「持続可能で豊かな社会の実現に貢献する」という企業理念の実現に向けたものであり、「アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界」を目指すことが私たちの存在意義(パーカス)です。

企業理念の実現に向けて、社員一人ひとりが行動の基準とすべき指針「UACJウェイ」では、グループ社員が共通で持つべき価値観として、「相互の理解と尊重」「誠実さと未来志向」「好奇心と挑戦心」という3つを掲げています。このなかで、私が特に重視すべきと考えているのが**「好奇心と挑戦心」**です。アルミニウムは、すでに広く社会のさまざまな分野で活用されていますが、まだまだ未知の可能性を秘めています。そうした可能性を探求し、広げていくためには、社員一人ひとりが好奇心と挑戦心を持ち、相互に刺激し合い、成長していくことが重要だと考えています。

UACJグループは、世界有数のアルミニウム総合メーカーとして、板製品、自動車部品、箔製品、押出製品、鋳物・鋳造製品、加工製品まで多彩なラインアップを有し、日本国内はもとより世界各国の多様な企業とビジネスを展開しています。また、アルミニウムの高リサイクル性を活かし、これからの時代に求められる**サステナブルな製品**を“生み出す喜び”もあります。こうした環境は、好奇心と挑戦心を高いレベルで維持する上で非常に有益であり、社員一人ひとりに成長機会を提供できるものと考えています。

また、社員の成長支援については、適切なジョブローテーションやキャリア形成を支援する「キャリア面談」など、個々の希望や能力に寄り添った取り組みを積極化するとともに、イノベーションの源泉となる「多様性」の確保にも注力しています。ここで言う多様性とは、国籍や性別の違いにとどまらず、年齢や経験・考え方の違いも指します。個々の意見・価値観の違いを前提に、**社員が自由かつ自律的**に発信し、互いを尊重しながらより良い方向を見出していく——こうしたコミュニケーションを促す環境・風土づくりを通じて、社員一人ひとり、ひいては会社の成長につなげていきたいと考えています。

UACJは、企業理念に共感し、無限の可能性を秘めたアルミニウムへの好奇心と挑戦心にあふれた方々を待っています。ぜひ私たちと一緒に「持続可能で豊かな社会」「**軽やかな世界**」の実現を目指して、挑戦していきましょう。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

人事部長
熊谷 規一郎



募集要項

募集職種	事務系:営業(国内・国外)／生産管理、経理、購買、人事、企画 技術系:研究開発、生産技術、設備技術、情報システム
募集学科	文 系:法・経済・経営・社・外・商・文・教育など (学科不問) 理 系:材料・機械・化学・電気・電子・情報・物理・数学など
初任給	高専卒:月給24万850円 学士卒:月給25万7,150円 修士卒:月給27万950円 博士了:月給29万3,250円 (2024年4月実績)
諸手当	家族手当、通勤手当、時間外手当ほか
昇給	年1回(4月)
賞与	年2回(夏・冬)
勤務地	本社(東京)、支社支店(愛知・大阪・福岡)、各製造拠点*(愛知・福井・埼玉・栃木ほか) ※含む研究所
勤務時間	本社・支社支店:9:00~17:45 製造拠点:各所により定める (フレックスタイム制あり 標準労働時間:7時間45分)
休日休暇	休日:週休2日制、年末年始など、 年間休日121日(拠点ごとのカレンダーあり) 休暇:有給休暇付与(20~25日/年)、慶弔休暇、 積立休暇、介護休暇など
福利厚生	制度など:財形貯蓄制度、従業員持株会制度、 退職金制度、積立休暇制度、 住宅融資制度、育児休業制度、 介護休業制度、寮・社宅、定期健康診断、 成人病診断、団体保険制度など 施設など:保養所、運動場、テニスコート、 サッカーグラウンドなど
採用人数	2026年4月:未定 2025年4月:技術系36名、事務系13名 2024年4月:技術系25名、事務系11名 2023年4月:技術系29名、事務系11名 2022年4月:技術系12名、事務系5名
選考方法	書類選考、WEB適性試験、面接
提出書類	履修履歴 理系学校推薦の場合は、推薦状または準ずる書類

求める人物像

- 当社の理念に共感をいただけ、かつ、以下の素養をお持ちの方
- 自分自身の意見を持つつ、お互いの考え方、価値観を認めポジティブな人間関係が構築できる方
 - 誠実に仕事や人に向き合って粘り強く取り組み、最後までやり切ることができる方
 - 好奇心と挑戦心をもって、様々な課題に楽しみながらチャレンジし、未来に向かって変革を起こそうとすることができる方

企業理念

素材の力を引き出す技術で、持続可能で豊かな社会の実現に貢献する。

目指す姿

アルミニウムを究めて環境負荷を減らし、軽やかな世界へ。

価値観

●相互の理解と尊重 ●誠実さと未来志向 ●好奇心と挑戦心

選考フロー

自由応募／事務系および技術系

エントリー(マイページ・リクナビ・マイナビ)

会社説明会、工場見学会参加(いずれも任意)

応募書類(WEBエントリーシート)の提出、
WEB適性検査の受検

面接(事務系2回、技術系1回)

最終面接

学校推薦／技術系のみ

エントリー(マイページ・リクナビ・マイナビ)

会社説明会、工場見学会参加(いずれも任意)

推薦書類(または準ずるもの)・応募書類の提出、
WEB適性検査の受検

面接(1回)

最終面接